# 〜日本一の「健幸長寿都市」を目指して〜

# 2040年 あなたは何歳ですか

代です。 団塊ジュニアが65歳を迎え高齢者となる時 2040年は、 団塊世代が90歳となり、

込みです。65歳以上の高齢者人口が生産年 生産年齢人口(15~4歳)は減少し続ける見 頃に、高齢者人口がピークを迎え、一方で 齢人口を上回る可能性もあります。 日本全体でみると、2040年を迎える



二本松市の人口ピラミッド

# 生活支援体制整備事業 がスタートしています。

されます。 の運営は非常に厳しいと想定 2040年、 介護保険制度

同士の助け合いについて考え、 えて、今から、ご近所・隣り ないでしょうか。時代を見据 助け合うこともできるのでは 話し合ってみませんか? 高齢者同士が元気でいたら

### 考えることが事業そのもの

れません。 何かを行うこともあるかもし 話し合った結果、行動に移す です。考えた結果、 こともあるかもしれません。 考えること自体がこの事業 みんなで

う一度考え、話し合い、変わっ ていくかもしれません。 何かを行っている間に、 今は、まだ「種まき期」。

> はなく、各地域で少しずつ事 業が進んでいます。 早めに始めた地域では、「話 一度に市全体で始めるので

ろまで進みました。 ていきましょう」というとこ し合いの場 (協議体)を運営し

#### . 地域で生活し続けられる] 地域づくり

行きましょう。 ることから、少しずつ始めて 2040年に向けて、でき

#### 安達地域で住民が話し合う場 協議体」が発足しました

た安達地域「協議体」。 平成31年から事業が始まっ

援コーディネーター」を中心 を進めてきました。 話し合いのできる体制づくり 場である「協議体」を立ち上げ ろな情報を集めて考えてみる け合いは何か」など、いろい の人たちの話し合いの中から に、地域の情報を集め、地域 「その地域にとって必要な助 社会福祉協議会の「生活支

> バーは、民生委員や地区社協 の参加者などが参加していま の方のほか、いきいきサロン 安達地域の協議体のメン

メンバーで構成されます。 域の実情によってさまざまな に決まった人選ではなく、 協議体のメンバーは、一律 地

活動しています。 での協議体づくりを目指して 度から事業が始まり、 二本松地域では、各中学校 岩代・東和地域では、 各地域

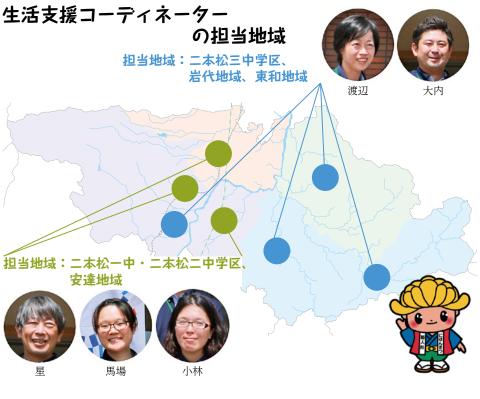
> ました。 委員等との話し合いが始まり づくりを検討していて、民生 安達地域協議体での話し合いの様子

区の生活圏域を中心に協議体

図のとおり) (各地域ごとに担当地区は左

の支え合いのネットワークづ 等の情報を集めながら、地域 方々の生活で困っていること な支え合い活動や、高齢の は、地域で行われている小さ 生活支援コーディネーター

」の皆さん(左から、渡辺、大内、馬場、星、小林) くりを一緒に進めていくため



の「推進役」です。

動しています。 二本松市では、市から委託

#### **宝物(資源)を見える化**

ぜてもらって一緒に地域を見

地域の活動やイベントに混

ていきます。

地域の宝物 (資源) の把握

域の理解につなげていきます。 その宝物を広く共有し、 地

#### 困りごと(課題)を把握

いることも把握していきます。 訪問していく中で、困って

## 関係者のネットワークづくり

詁し合いの機会をつくる とで、お互いを理解し協力で さる体制をつくっていきます。 さまざまな人と連携するこ

### 資源や課題を地域の人たち

伝いをしていきます。 続けられる地域づくりのお手 支え合い活動につなげていく 体)をつくっていきます。 で話し合うための機会(協議 将来に向け、地域で生活し たくさんの声を私たちにお

#### 高齢福祉課包括ケア推進係 3 Nihonmatsu City Public Relations, 2021.9, Japan

寄せください。

)問い合わせ…

社会福祉協議会

#### こんな活動をしています